



柴田 かつゆき



しばかつ通信 第015号(2025.6.24)

2025年通常国会のご報告 -少数与党で「熟議の国会」-

▶▶▶詳細は裏面へ



国政での活動

所属委員会：法務委員会・憲法審査会

刑事弁護の専門知識を評価され、立憲民主党を代表して衆議院本会議で「刑事デジタル法案」の質疑を担当しました(3月27日)。法務委員会では拘禁刑等(3月18日)、刑事デジタル法案(4月1日,9日,16日,18日)、民事裁判情報活用促進法案(4月25日)、譲渡担保契約・所有権留保契約法案(5月21日)、選択的夫婦別姓法案(6月4日,13日)の質疑を行いました。憲法審査会では、参議院の緊急集会と臨時国会招集請求について発言しました(3月13日,4月24日,5月8日)。いずれも「衆議院インターネット審議中継」のビデオライブラリで録画をご覧ください。また、6月18日には弁護士としても取り組んできた再審法の改正法案を野党6党で提出し、私も法案提出者の1人として名を連ねました。

地元での活動

以前よりご要望いただいております国会見学会ついに開催することができました。平日にも関わらず、足を運んでいただき、感謝申し上げます。ご都合の良い日に合わせて開催することもできますので、ご希望の方は是非ご連絡ください！
また、江戸川区でも様々なイベントに参加しております。ポッチャに初挑戦で楽しい時間を過ごすことができました。



「チームしばかつ」メンバー大募集

柴田かつゆきへの応援をぜひお待ちしております！！ ▶▶▶

★後援会への加入（年会費無料・イベント招待あり）

★ボランティアへの登録

後援会



ボランティア



公式SNS(X)



2025年の通常国会は6月22日で閉会しました。昨年10月の衆議院選挙で自民党・公明党の与党が過半数割れとなったため、野党の意見も取り入れなければ議案が可決できない「熟議の国会」となりました。

【「年収103万円の壁」の見直し】

所得税の課税が発生する「年収103万円の壁」（基礎控除48万円+給与所得控除55万円=103万円）が、**2025年分の所得税から、基礎控除95万円+給与所得控除65万円=160万円に上げられました**（働く学生の親に対する「特定扶養控除」の壁も103万円から150万円に引き上げられ、壁を越えても急に控除額が減らないようにする「特定親族特別控除」も導入されました）。ただし年収額が増えると基礎控除は58万円まで減額するため、**減税額は1人あたり年2万円程度**との試算です。昨年から立憲民主党が提出している「130万円の壁」（社会保険料の壁）を解消する法案は、この国会でも取り上げられませんでした。

【高額療養費の自己負担額引上げ凍結】

難病や大ケガなどで高額な医療費がかかった場合に、一定額以下に自己負担を抑える公的医療保険の「高額療養費制度」について、**政府からは自己負担額を最大75%引き上げる案が提出されましたが、患者団体等からの抗議や、ガン闘病経験を持つ立憲民主党の酒井なつみ議員の質疑などによって撤回されました**。政府は今年秋までに再検討するとのことですが、患者の皆様が経済的理由で医療を諦めることがないようにする必要があります。

【基礎年金の切り下げストップ】

今年は5年に1度の年金財政の見直しの年でしたが、予定より大幅に遅れて出てきた政府案は、基礎年金の実質価値が2057年には現在の30%減まで切り下げられてしまう内容になっていました。そのため**立憲民主党は基礎年金の切り下げを防ぐ修正案を提出し、約1ヶ月という短期間で与党とも合意して成立させました**。

【その他の主な成立法案】

多子世帯(扶養する子が3人以上)の大学生等の入学金・授業料を減免する「**修学支援法改正案**」、中小企業が人件費・原料費等の高騰を適切に価格転嫁できる方策などを定めた「**中小受託事業者法(旧下請法)等改正案**」、公立小中学校等の教職員の待遇改善などを定めた「**公立学校の教職員の給与等に関する特別措置法(給特法)等改正案**」、外国からのサイバー攻撃を防ぐため攻撃前に外国のサーバーを無害化する手段等を定めた「**能動的サイバー防御法案**」、刑事手続のデジタル化を定めた「**刑事デジタル法案**」、公益通報制度の実効性を高めるための「**公益通報者保護法改正案**」、老朽化が進むマンションの管理・再生を円滑に進める方策等を定めた「**マンション法改正案**」、ギャンブル依存症防止策としてオンラインカジノへの勧誘行為等を禁止する「**オンラインカジノ規制法案**」、国の機関であった日本学術会議を特殊法人化した上で政府からの監督を強化する「**日本学術会議法案**」、品位を損なう選挙ポスターを禁止する「**公職選挙法改正案**」等が可決されました。

【結論が出なかった問題】

今国会の重要テーマであった**企業・団体献金の禁止、選択的夫婦別姓、再審法改正、ガソリン暫定税率の廃止**については与党の抵抗等で結論が出せませんでした。**これらを実現するためには7月20日投票の参議院選挙で与党を過半数割れにして追い込んでいく必要があります**。立憲民主党にぜひ皆様のご支援をお願いいたします。

柴田かつゆき プロフィール

1968年10月生まれ。開成中高、東大法学部卒
「困っている人を、助けたい。」との想いから弁護士を志し、今年で30年を迎える。

司法修習所刑事弁護教官、第二東京弁護士会副会長、日本弁護士連合会常務理事を務めた。刑事事件の弁護人などの経験から、日本の社会保障や制度の在り方に疑問を抱くようになり、制度を作る側である国会議員を志し、2024年10月の衆議院選挙で初当選。

編集後記～スタッフKのひとりごと

しばかつ通信、少しだけリニューアルされたことにお気づきでしょうか？実は、柴田さんの写真と「柴田かつゆき」のフォントが新しくなりました！街中のポスターも新バージョンです。初の試みとして、一度も政治関連のデザインを担当したことがない方をお願いしてみました。一緒にお仕事をする中で、担当の方々が「政治のニュースを気にするようになったり、街でふと見かけるポスターが目にとまったりするようになった」と言ってくださり、嬉しい気持ちになりました。政治や社会に、関心を持ってもらえるよう、頑張っていきたいです！